



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

会社名 太平化学製品株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 4223

URL <http://www.taihei-chemicals.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 豊

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 坂田 昌繁 TEL (048) 222-1122

半期報告書提出予定日 平成26年12月24日

親会社等の名称 東ソー株式会社 (コード番号 : 4042) 親会社における当社の議決権所有比率 : 75.93%

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日 ~ 平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,649	9.0	19	—	39	—	22	—
26年3月期第2四半期	2,431	△ 7.2	△ 127	—	△ 82	—	△ 61	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 41百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △44百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	1 87	—
26年3月期第2四半期	△ 4 99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	8,438	2,969	35.2	241 64
26年3月期	8,285	2,928	35.3	238 29

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,969百万円 26年3月期 2,928百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
27年3月期	—	0 00	—	—	—
27年3月期 (予想)	—	—	—	2 50	2 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,700	12.0	100	—	100	—	60	—	4 88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期第2Q	12,300,000株	26年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	27年3月期第2Q	9,062株	26年3月期	8,342株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期第2Q	12,291,115株	26年3月期第2Q	12,292,117株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成27年3月期第2四半期の個別業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,645	9.0	14	—	36	—	21	—
26年3月期第2四半期	2,426	△ 7.3	△122	—	△ 75	—	△ 57	—

	1株当たり 四半期純利益	
	円	銭
27年3月期第2四半期	1	74
26年3月期第2四半期	△ 4	66

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
27年3月期第2四半期	8,405		2,958		35.2		240 72	
26年3月期	8,254		2,919		35.4		237 50	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,958百万円 26年3月期 2,919百万円

2. 平成27年3月期の個別業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	5,690	12.0	100	—	60	—	4 88	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関連する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付書類の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 1) 当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）におけるわが国経済は、政府の景気対策により緩やかな回復基調となったものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動や物価上昇に伴う実質所得の低下の影響などから個人消費は弱い動きとなっており、住宅投資も駆け込み需要の反動から大幅に減少し、依然として景気の見通しが不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当社グループは、企業の設備投資の回復や海外案件を獲得できたこと等により、売上高は、2,649百万円、対前年同期比218百万円（同9.0%）の増収となりました。

一方、利益面につきましては、売上高の増収効果や経費削減及び製造原価低減の一層の推進に努めたことに加え、期末に向けて急激な円安になった結果、営業利益は19百万円、対前年同期比146百万円、経常利益は39百万円、対前年同期比121百万円、四半期純利益は22百万円、対前年同期比84百万円の増益となり、上期黒字化を達成しました。

### 2) 事業の種類別セグメントの状況

#### ① 合成樹脂事業

合成樹脂事業は、冷却塔用充填剤及び照明器具用部材に加え海外カード案件の拡販に努めてまいりました結果、売上高は、1,681百万円、対前年同期比220百万円（同15.1%）の増収となり、この影響を受けてセグメント利益は57百万円、対前年同期比106百万円の増益となりました。

#### ② 化成品事業

化成品事業は、安価な海外品の流入の影響により粘接着剤塗工製品は減少したため売上高は、968百万円、対前年同期比2百万円（同0.3%）の減収となりましたが、顔料分散体の高付加価値品が増加したためセグメント利益は、192百万円、対前年同期比54百万円（同40.0%）の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に現預金の増加及び棚卸資産の増加の結果、前連結会計年度末と比較して152百万円増加し、8,438百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金が増加した結果、111百万円増加し、5,468百万円となりました。

純資産は、主に当四半期純利益により、41百万円増加し2,969百万円となりました。

### 2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動の結果得られた資金が、投資活動及び財務活動に使用した資金を上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ89百万円増加し1,158百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、209百万円となりました。これは主に仕入債務の増加156百万円及び減価償却費76百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、79百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得79百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、55百万円となりました。これは主に長期借入金の返済54百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなか、駆け込み需要の反動が減衰することにより個人消費が回復し、企業収益の改善を背景に設備投資の増加も続くことなどから緩やかに回復していくことが見込まれます。

こうした環境下、当期における当社の業績は、当社を取り巻く市場環境は依然として厳しい状況が続いているものの、新規案件の獲得やコスト削減策が功を奏していることもあり、当第2四半期累計期間における業績は、売上高、営業利益及び経常利益は当初の予想を上回っております。

今後につきましては駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れにより国内の景気を下押しするなど先行き不透明な状況が懸念されます。

なお、平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月15日公表の業績予想から変更ありません。

**2. サマリー情報（その他）に関する事項**

**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

**(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用**

**税金費用の計算**

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

**(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,069	1,158
受取手形及び売掛金	1,732	1,756
商品及び製品	645	723
仕掛品	218	238
原材料及び貯蔵品	310	278
繰延税金資産	69	55
その他	65	60
流動資産合計	4,110	4,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	288	286
機械装置及び運搬具（純額）	426	439
土地	2,759	2,759
リース資産（純額）	5	4
建設仮勘定	55	20
その他（純額）	6	6
有形固定資産合計	3,541	3,517
無形固定資産		
ソフトウェア	1	1
電話加入権	2	2
無形固定資産合計	4	3
投資その他の資産		
投資有価証券	166	184
関係会社株式	30	30
繰延税金資産	423	423
その他	8	6
投資その他の資産合計	629	644
固定資産合計	4,175	4,165
資産合計	8,285	8,438

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,019	1,176
短期借入金	3,000	3,000
1年以内返済予定の長期借入金	108	108
リース債務	2	2
未払金	137	119
未払法人税等	7	6
未払消費税等	2	30
未払費用	36	40
賞与引当金	92	87
設備関係支払手形	49	20
その他	6	6
流動負債合計	4,461	4,597
<b>固定負債</b>		
長期借入金	106	52
リース債務	3	2
役員退職慰労引当金	23	27
退職給付に係る負債	691	716
長期預り保証金	51	53
その他	19	19
固定負債合計	895	870
負債合計	5,356	5,468
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,222	1,222
資本剰余金	958	958
利益剰余金	795	818
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	2,976	2,999
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	△ 47	△ 29
その他の包括利益累計額合計	△ 47	△ 29
少数株主持分	—	—
純資産合計	2,928	2,969
負債純資産合計	8,285	8,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	2,431	2,649
売上原価	2,187	2,264
売上総利益	244	384
販売費及び一般管理費	371	365
営業利益又は営業損失(△)	△ 127	19
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	2	2
試作品売却益	10	10
スクラップ売却益	3	2
為替差益	11	15
受取補償金	36	—
その他	4	8
営業外収益合計	68	39
営業外費用		
支払利息	21	18
その他	2	1
営業外費用合計	23	19
経常利益又は経常損失(△)	△ 82	39
特別損失		
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 91	38
法人税、住民税及び事業税	△ 30	15
法人税等合計	△ 30	15
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 61	22
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 61	22

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 61	22
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	18
その他の包括利益合計	16	18
四半期包括利益	△ 44	41
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 44	41
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△	91		38
減価償却費		74		76
退職給付引当金の増減額(△は減少)		35		—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)		—		24
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△	6		4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△	10	△	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△	0		—
受取利息及び受取配当金	△	2	△	2
支払利息		21		18
為替差損益(△は益)	△	11	△	15
有形固定資産除却損		9		0
売上債権の増減額(△は増加)		339	△	24
たな卸資産の増減額(△は増加)	△	45	△	65
仕入債務の増減額(△は減少)		10		156
未払消費税等の増減額(△は減少)	△	30		27
その他	△	42	△	4
小計		249		229
利息及び配当金の受取額		2		2
利息の支払額	△	25	△	18
法人税等の支払額	△	4	△	4
法人税等の還付額		0		0
営業活動によるキャッシュ・フロー		223		209
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	60	△	79
有形固定資産の除却による支出	△	7		—
無形固定資産の取得による支出	△	1		—
関係会社出資金の払込による支出	△	30		—
長期前払費用の取得による支出		—	△	0
その他		—	△	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	99	△	79
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(△は減少)	△	100		—
長期借入金の返済による支出	△	54	△	54
リース債務の返済による支出	△	1	△	1
自己株式の取得による支出	△	0	△	0
配当金の支払額	△	30	△	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	185	△	55
現金及び現金同等物に係る換算差額		11		15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△	51		89
現金及び現金同等物の期首残高		1,281		1,069
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,230		1,158

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

1) 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂事業	化成品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,460	970	2,431	—	2,431
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,460	970	2,431	—	2,431
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△ 49	137	87	△ 214	△ 127

(注) セグメント利益調整額△214百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△216百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂事業	化成品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,681	968	2,649	—	2,649
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,681	968	2,649	—	2,649
セグメント利益	57	192	249	△ 230	19

(注) セグメント利益調整額△230百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△232百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。